

1 無痛分娩看護手順

1、必要物品

- ① 硬膜外麻酔セット
- ② クロルヘキシジン
- ③ 1%キシロカイン 5ml 2A
- ④ 生理食塩水 20ml 1A
- ⑤ 医師用滅菌手袋
- ⑥ 防水シート

- ⑦ ルート確保セット
- ⑧ リナセート F 500ml
- ⑨ 点滴スタンド
- ⑩ 酸素流量計
- ⑪ 酸素マスク
- ⑫ 血圧計
- ⑬ SpO2 モニター
- ⑭ 分娩監視装置
- ⑮ 輸液ポンプ
- ⑯ シリンジポンプ

2、同意書確認

コピーして原本をカルテへ、コピーを本人へ渡す

3、分娩室入室

血圧、SpO2、CTG モニター装着

4、ルート確保

利き腕でない方で 20G ルート確保、リナセート F 滴下開始

5、体位固定

左側臥位、肩は倒さず地面に垂直にする

背中に防水シートを敷き込む

声掛けにて不安を軽減に努める

6、カテーテル挿入

痺れ・疼痛の確認、部位・方向・深さ確認

7、テストドーズ

0.1%キシロカイン 3ml 投与後、局所麻酔中毒、高位脊髄くも膜下麻酔症状がないことを確認

8、テープ固定

医師の固定後、フィルム側面とカテーテルは背中を沿わせてテープ固定。

接続部はガーゼにくるみ胸部で固定

9、30 分間観察

注入直後は 2～5 分おきのバイタル観察、落ち着いていれば 5～15 分おきに観察。30 分は分娩室で観察。

Th10（臍）まで痛覚麻痺が得られているか、左右差無いか確認。

疼痛評価：NRS

感覚範囲評価：コールドテスト。目指すは T10～S。

T4：乳房、T6:剣状突起、T10：臍、L2～3：大腿前面、S1～3：大腿裏面

運動神経ブロック評価：Bromage スケール。

0：膝を伸ばしたまま足を挙上、1：膝は曲げられるが足は挙上できない。

2：膝は曲げられず足首は曲げられる。3：足が動かない

10、アナペイン投与

フラッシュ 0.2%アナペイン 3～5ml を医師が緩徐に注入。2～5 分おきに VS 測定

持続注入 0.1%アナペイン 50ml（0.2%アナペイン 25ml+生食 25ml）を医師が接続。8～12ml/h で投与

11、記録

- ・無痛準備、体位固定時間
- ・0.1%キシロカインにて局所麻酔開始時
- ・カテーテル挿入時間、部位、深さ、進度
- ・0.1%キシロカイン 3ml テストドーズ注入時の局所麻酔中毒、高位脊髄くも膜下麻酔症状の有無

12、副作用

投与直後	局所麻酔薬中毒：口唇の痺れ、金属の味、耳鳴り、 高位脊髄くも膜下麻酔：急激な麻痺拡大・運動障害、呼吸抑制、低血圧
投与中	大腿・臀部の痺れ 感覚鈍麻 低血圧 排尿障害 かゆみ 体温上昇
終了後	血腫形成 感染 硬膜穿刺後頭痛

13、分娩障害

微弱陣痛

回旋異常

排尿障害

麻酔投与時の胎児心拍数の変化